

茅ヶ崎市地球温暖化対策実行計画 概要版

～輝く未来をこどもたちに残すために、みんなで取り組もう！～



身近なことから一つ
ずつ取り組んでいこう！

平成 25 年 3 月
茅ヶ崎市

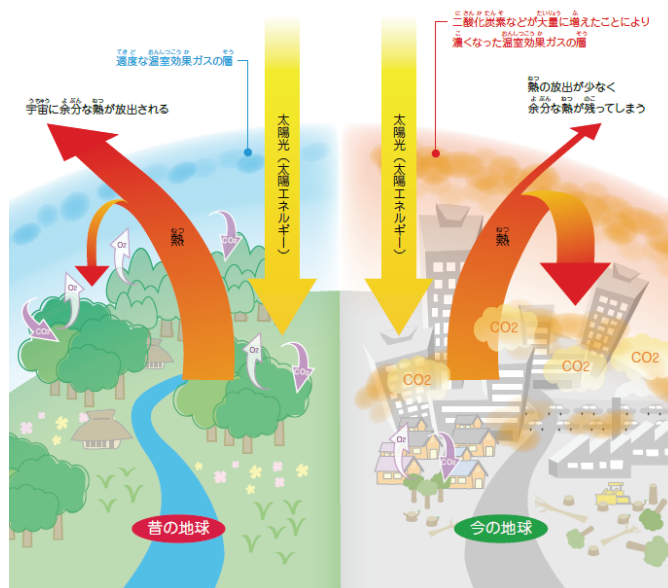


ちがさ貴族
えぼし麻呂

1 地球温暖化の仕組み

地球の表面は太陽のエネルギーで温められています。地表から放出される熱の多くは宇宙に出ていきますが、一部の熱は大気中の二酸化炭素などの温室効果ガスに吸収されて、地球上に残ります。大気中の温室効果ガスの量が適度なら、地球全体の気温はほどよく保たれ、いきものが生きていきやすい環境が維持されます。

ところが、温室効果ガスが増えすぎると、宇宙に放出される熱が減少するため、地球全体に熱がたまり気温が上がってしまいます。この状態を地球温暖化といいます。



出典：「こども環境白書 2012」（環境省）

2 地球温暖化と私たちの生活

地球温暖化の原因となる温室効果ガスの一つに二酸化炭素があります。

二酸化炭素は、とても身近な物質です。事業所や工場で燃料を燃やしたり、家庭でテレビをみて電気を使ったり、お風呂をわかすのにガスを使ったり、自動車が走るのにガソリンを使ったりしてエネルギーを消費すると、二酸化炭素が発生します。



出典：「こども環境白書 2011」（環境省）より作成

地球温暖化になると日本にどんな影響が出るの？

地球温暖化が進んだ場合、海面上昇による海岸浸食や、台風の強度の増加、進路変化がおけるといわれています。日本は、特に沿岸域に人口・産業が集中しており、この地域は、地球温暖化の影響を受けやすいといえます。



サンゴが白化するなど生態系にも深刻な影響がでます。
写真提供(財)海中公園センター



ブナ林や亜高山帯・亜寒帯の針葉樹林の分布適地が減少する。



2100年までに地球の平均気温が3～4℃上昇する場合、日本では気候帯が4～5km/年のスピードで北上するという報告があります。



温暖化により、強い熱帯低気圧は今後も増加することが予測されており、その結果、激しい風雨により沿岸域での被害が増加する可能性があります。



猛暑日や熱帯夜が大幅に増える。熱波により、熱中症患者が増加し、デング熱や日本脳炎が発生する可能性が高まる。



沿岸域では海面上昇に高潮が重なることによる被害拡大、海面上昇による海岸浸食や砂浜の消失等が予想される。

出典：全国地球温暖化防止活動推進センターホームページ

3 計画の目的

地球温暖化を防止するためには、市民、事業者、市が一体となった取り組みが不可欠であるため、本計画では、それぞれが協働の下に地球温暖化対策の実行主体として積極的に取り組むことにより、市域の温室効果ガス排出量を削減することを目的としています。

4 茅ヶ崎市の温室効果ガス排出状況と削減目標

基準年度である平成2年度（1990年度）の茅ヶ崎市の温室効果ガス排出量は1,456千トンCO₂です。最新年度である平成21年度（2009年度）は1,382千トンCO₂で、基準年度に比べて約5%の減少となっています。現状趨勢※ケースでは、目標年度である平成32年度（2020年度）は1,529千トンCO₂になると推計されます。目標年度は最新年度に比べて産業部門は増加し、民生業務部門及び民生家庭部門がほぼ変わらないと想定されます。

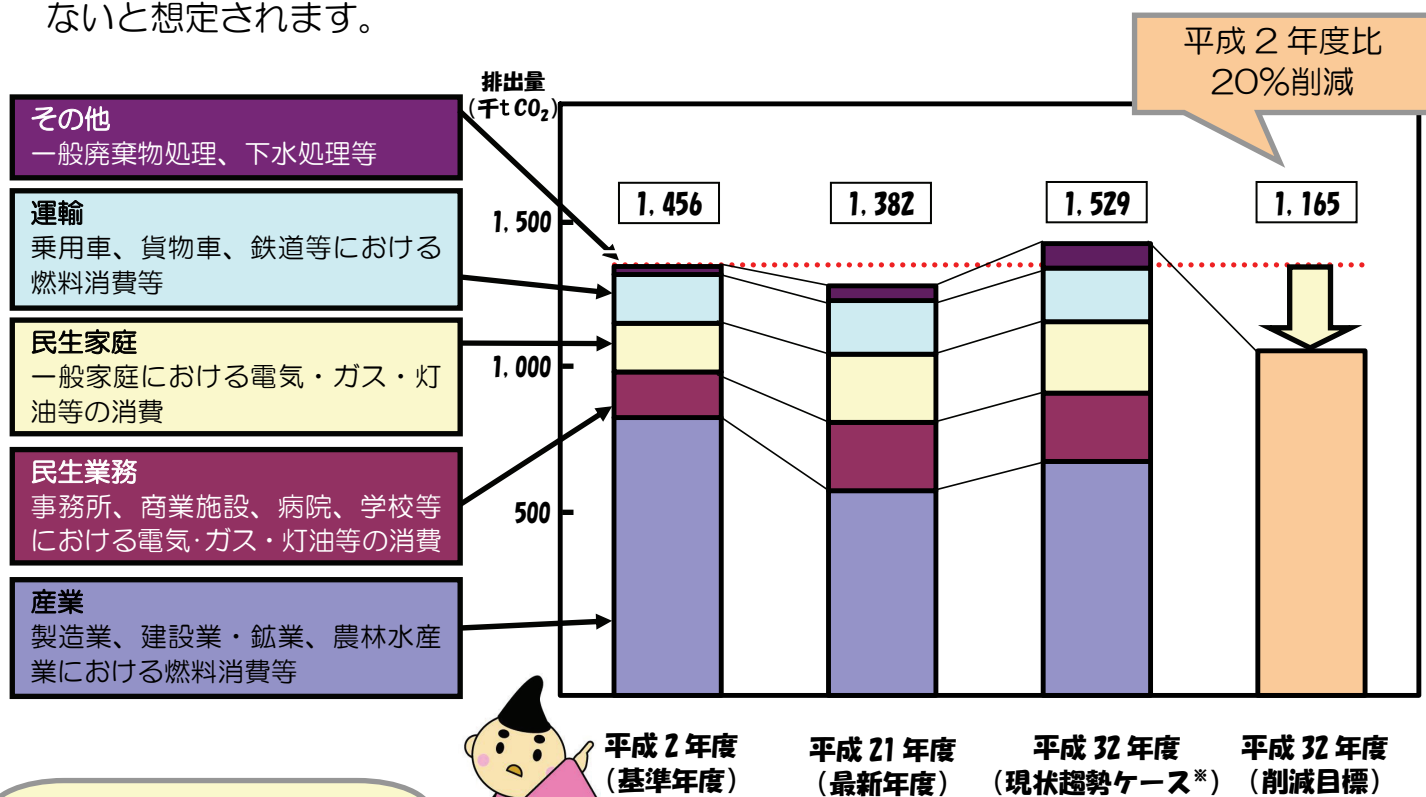


図 茅ヶ崎市の温室効果ガス排出量の推移

【温室効果ガス削減目標】

基準年度 平成2年度(1990年度)

計画期間 平成25年度(2013年度)から平成32年度(2020年度)

削減目標 茅ヶ崎市全体から排出される温室効果ガス排出量を、平成32年度(2020年度)までに、平成2年度(1990年度)比で20%削減します。

5 取り組みの柱

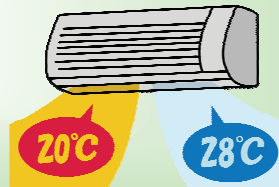
目標達成を目指す取り組み

茅ヶ崎市では、削減目標を達成するために、次の取り組みを実施します。

取り組みの内容 ①

家庭・事業者における省エネ行動の推進や省エネ機器等の導入支援

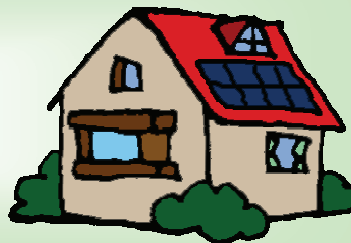
- 節電・省エネ行動の実践支援
- 省エネナビやエコワットの貸出し
- 省エネルギー機器の利用・導入促進 など



取り組みの内容 ②

再生可能エネルギーの積極的導入支援

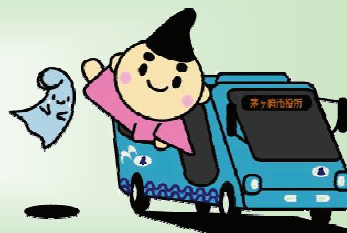
- 太陽光発電設備・太陽熱利用設備の設置補助
- 茅ヶ崎市太陽光発電設備普及啓発基金の運用
- 茅ヶ崎市太陽光発電クレジット制度の検討 など



取り組みの内容 ③

低炭素型まちづくりの推進

- 公共交通機関の利用促進
- 電気自動車購入補助の実施
- みどりの保全・再生・創出 など



取り組みの内容 ④

循環型まちづくりの推進

- マイバッグ運動・レジ袋削減の推進
- 生ごみ処理容器等の普及の推進
- ごみの排出抑制・分別方法に関する情報提供 など



取り組みの内容 ⑤

普及啓発や情報発信、連携・協働の仕組みづくり

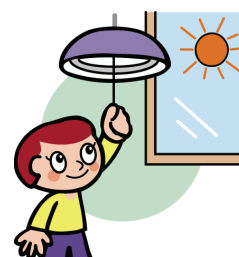
- ポータルサイト等を利用した市民・事業者向けの環境情報ネットワークの構築
- 減 CO₂ コンテスト・省エネルギー表彰制度の実施
- 省エネルギー・地球温暖化防止に関する意識調査の実施 など

6 優先的な取り組み

優先的な取り組み Ⅰ 取り組んでみよう！ちがさき省エネライフ

市民の省エネ行動を促進し、多くの市民に省エネライフを実践してもらうために、「取り組んでみよう！ちがさき省エネライフ」に取り組みます。

- 地球温暖化対策に関する情報をまとめたポータルサイト「（仮称）ちがさきエコネット」を作成し、情報を発信します。
- 「（仮称）ちがさきエコネット」内において「（仮称）ちがさきエコファミリー」の登録を行い、登録者等を対象とした減 CO₂ コンテストや省エネルギー表彰制度を実施します。
- 家庭でできる温暖化対策チェックシートを利用して省エネに取り組みましょう。（8 家庭でできる温暖化対策チェックシート参照）
など



目指す姿

自分の生活スタイルにあった「ちがさき省エネライフ」の実践！

優先的な取り組み Ⅱ 進めよう！事業活動における地球温暖化対策

事業者の取り組み状況を把握し、情報発信することで、事業活動における地球温暖化対策を促進する、「進めよう！事業活動における地球温暖化対策」を実施します。

- 「（仮称）ちがさきエコネット」において、事業者が集まるイベントや講習会の開催等の情報提供を行うことにより、事業者間の情報交換を促進します。
- 事業者に対し、定期的に意識調査を行うとともに、事業活動に伴う温室効果ガス排出量の現況を把握し、その分析結果を公表します。
- 「（仮称）ちがさきエコネット」内において「（仮称）エコ事業者」を認定する制度の導入を検討します。

など



目指す姿

循環型・低炭素型事業活動による事業メリット拡大と地域活性化！

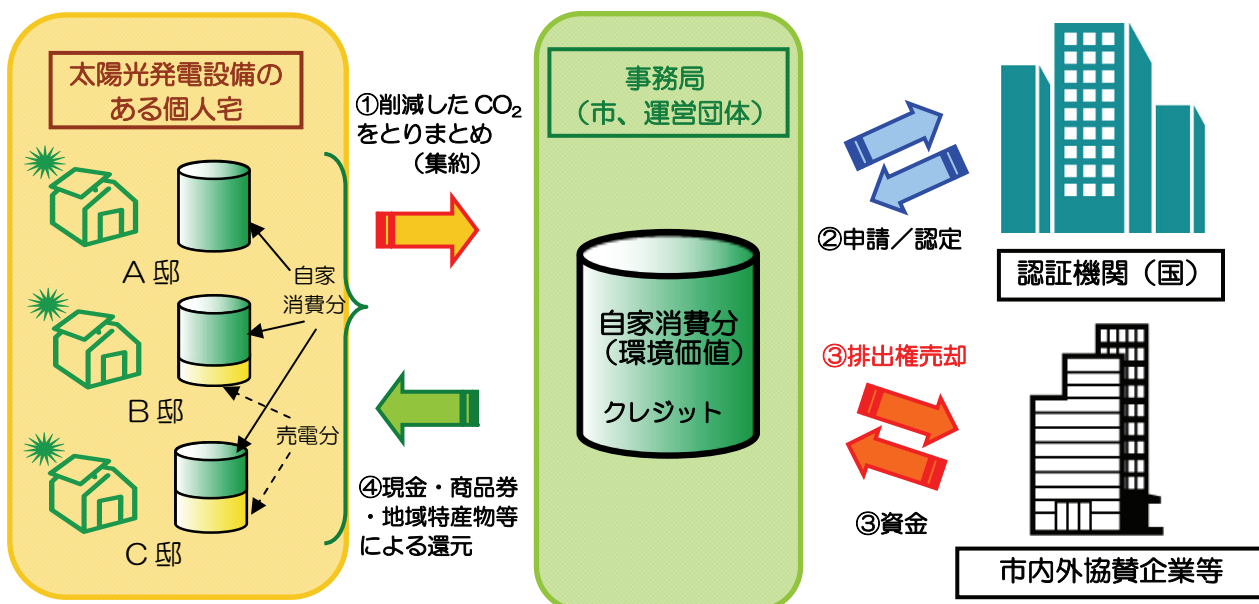
優先的な取り組み III 協力しよう！地域で取り組む地球温暖化対策

太陽光発電設備や電気自動車の普及をさらに広げるために、「協力しよう！地域で取り組む地球温暖化対策」を実施します。

- 住宅への高効率給湯器、コージェネレーションシステムなどの省エネルギー機器や太陽光発電設備の設置に対する補助を継続します。
- 電気自動車の購入補助を継続し、市民・事業者への普及啓発のため、電気自動車を率先して導入します。
- 家庭に設置した太陽光発電設備による発電量のうち、自宅で使用した分を排出枠として企業などに売却できる「（仮称）茅ヶ崎市太陽光発電クレジット制度」を導入します。
など

「（仮称）茅ヶ崎市太陽光発電クレジット制度」

「（仮称）茅ヶ崎市太陽光発電クレジット制度」は、各家庭のCO₂削減量をとりまとめ、国内クレジットとして認証を受けることで、その環境価値を「見える化」とするとともに、その活用を図るしくみです。



自家消費分：太陽光発電設備による電気は、CO₂を発生させずに発電した電気のため、自宅で消費した電気も環境価値がある。
売電分：太陽光発電設備により発電した電気のうち、余剰分は環境価値を含めて電力会社が買い取る。

目指す姿

地域で発電したエネルギーや環境価値を地域のために利用！

市民・事業者の皆さまへ 以下の取り組みへのご協力をお願いします

- ・節電・省エネ行動の実践
- ・LED照明などの省エネ機器や太陽光発電設備などの導入
- ・コミュニティバス等の公共交通の利用
- ・エコドライブの実践、自転車の活用
- ・敷地の緑化など、みどりの創出と保全
- ・緑のカーテンなどの壁面緑化や屋上緑化



7 茅ヶ崎市行政の取り組み

平成 22 年度（2010 年度）の温室効果ガス排出量を基準として、次のような削減目標を掲げ、達成を目指します。

（総排出量） 平成 32 年度までに 20%の削減を目指します。
 （市施設の事業活動による排出量） 平成 32 年度までに 15%の削減を目指します。
 （一般廃棄物処理による排出量） 平成 32 年度までに 25%の削減を目指します。

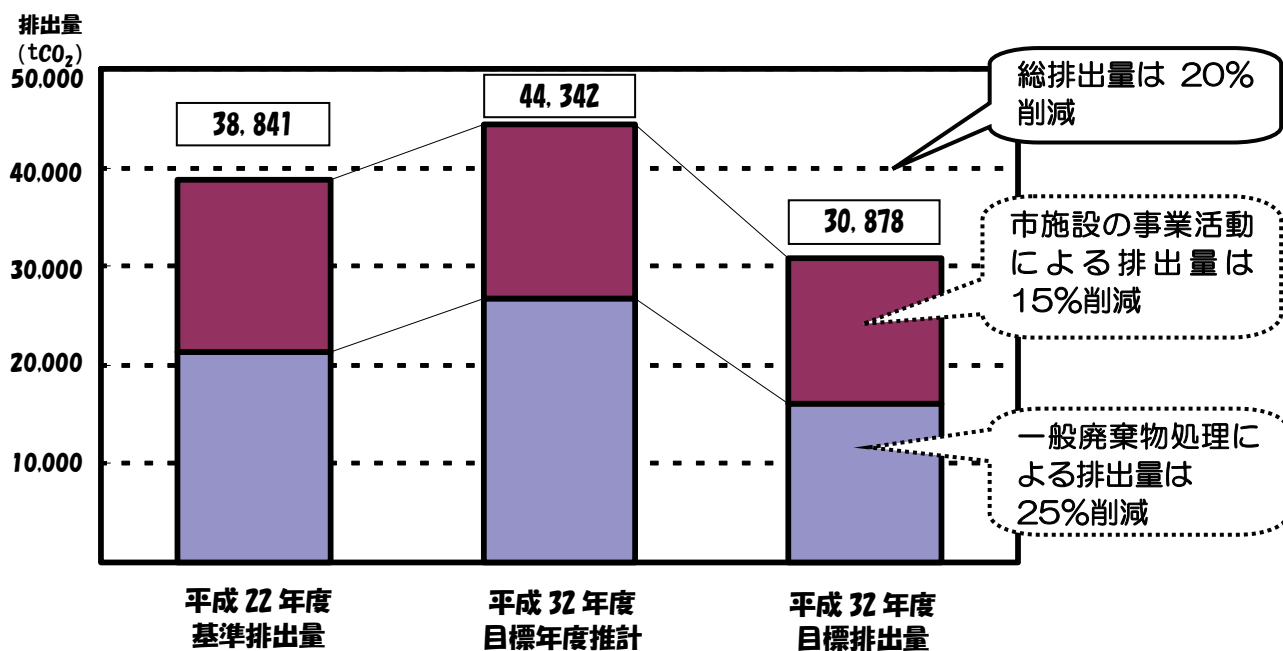


図 茅ヶ崎市行政の目標排出量及び削減目標

市は、目標を達成するため、次の取り組みを行います。

- モノを買ったり使ったりするとき
 - 電気、都市ガス、LP ガス、灯油などの使用量を、平成 22 年度比で 15%以上減らします。
 - 公用車には低公害車（電気、CNG、メタノール、ハイブリッド自動車など）や低燃費車を採用します。
 - 公用車の燃料消費を、平成 22 年度比で 15%以上減らします。
 - 環境にやさしい製品を優先的に購入し、長期間使用することなどにより製品購入量を減らします。
- モノを捨てるとき
 - ごみの減量化や資源化に努めます。
- 公共事業などを行うとき
 - 公共施設に省エネルギー機器や再生可能エネルギー設備を導入します。
 - 公共施設の建設・管理や公共事業の実施において、環境に配慮します。

など

8 家庭でできる地球温暖化対策チェックシート

家庭でできる地球温暖化対策チェックシートを使って、ご家庭で地球温暖化対策を取り組んでみましょう！

家庭でできる地球温暖化対策チェックシート

	上段：取り組み内容（例） 下段：削減量の前提条件	年間削減 エネルギー量	1世帯当たり CO ₂ 削減量 (kgCO ₂)	チェック
①エアコン	●冷房 28℃、暖房 20℃を目安に設定する。 冷房は設定温度を 27℃から 28℃にし、暖房は設定温度を 21℃から 20℃にした場合（使用時間 9 時間／日）	83.32 kWh/台	73.0	☐
②石油ファン ヒーター	●室温は 20℃を目安にする。 設定温度を 21℃から 20℃にした場合（使用時間 9 時間／日）	10.22 l / 台	17.8	☐
③テレビ	●テレビを見ないときは消す。 1日1時間 20 インチ液晶テレビを見る時間を減らした場合	15.00 kWh/台	11.7	☐
④電気 カーペット	●設定温度は低めにする。 3畳用で「強」から「中」にした場合（使用時間 5 時間／日）	185.97 kWh/台	39.2	☐
⑤電気 冷蔵庫	●設定温度は適切にする。 設定温度を「強」から「中」にした場合	61.72 kWh/台	26.0	☐
⑥ガス 給湯器	●食器を洗うときは低温に設定する。 65lの水道水（水温 20℃）を、38℃に沸かし、2 回手洗いた場合（使用期間：253 日）	8.80 m ³ /台	15.3	☐
⑦電子 レンジ	●野菜の下ごしらえに電子レンジを活用する。 100g の食材（根菜）を電子レンジで下ごしらえをした場合	-（注）	20.0	☐
⑧電気 ポット	●長時間使用しないときはフラグを抜く。 フラグを抜いて保温しないで再沸騰させて使用した場合	107.45 kWh/台	37.7	☐
⑨風呂湯 沸かし器	●お風呂は間隔をあけずに入る。 追い炊きする場合（1 回／日）	38.20 m ³	87.0	☐
⑩照明器具	●点灯時間を短くする。 12W の電球型蛍光灯の点灯時間を 1 日 1 時間短縮した場合	19.71 kWh/台	62.10	☐
⑪自動車	●ふんわりアクセル「e スタート」を心がける。 発進時、5 秒間で 20km/h 程度に加速する場合	83.57 l / 台	194	☐
	●アイドリングストップを心がける。 5 秒の停止でアイドリングストップを行う場合	17.33 l / 台	40.2	☐

（注）…ガスの使用量と電気の使用量が単純に比較できないため、記載していません。

出典：「家庭の省エネ大辞典 2011 年版」（財団法人省エネルギーセンター）を基に算定

茅ヶ崎市地球温暖化対策実行計画 概要版 平成 25 年 3 月発行

発行・編集：茅ヶ崎市環境部環境政策課
：神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎一丁目 1 番 1 号
電話番号：0467-82-1111
ホームページ：<http://www.city.chigasaki.kanagawa.jp/>
E-mail：kankyouseisaku@city.chigasaki.kanagawa.jp